

11月、2000.

## NEWSLETTER

ご父兄各位、

すでに第2クォーターに差し掛かり、生徒たちは一生懸命に勉学に励んでいる事でしょう。今回のニュースレターで幾つかの事を報告いたしたく、内、一番の課題は校内での英語の使用強化を図る事です。

### 校内での英語使用

我々学校関係者として、マリスタの卒業生の大学進学を助けるために、優れた英語力を推進する責任があります。それを達成するためには一日中英語で過ごすのが一番良いと考えられます。生徒は大学で成功する為にもその言葉での生活が最も良いと確信しております。

ハンドブックには次の様に示されています。

マリスタでは英語がメインで教育がなされているため、校内ではあらゆる時間使用される言葉は英語とします。スポーツやクラブ活動の時間も例外では有りません。英語で会話をする事を怠る事は学校の規則に反します。

ハンドブックにはとても明確に示されているにも関わらず、全員が実行しているのを確かめるのは困難であり、1999-2000年度には教師で成り立つ委員会を作り、どの程度英語が校内で使われているのかを調査しました。委員会は数々の生徒と話し合い、意見も交換しました。調査により、マリスタでの英語力の推進を図り、長期と短期に渡り、目標を設定することが出来ました。

校内での英語使用が英語力を高めるには最も良い方法です。英語を使用していない生徒を注意するだけでは効果が見られません。その結果10月16日よりこれらの校則を設けました：もし生徒が英語以外の言葉で話したら：

- 1) 教師はその生徒に言葉の注意をともに文章での担当教職員に通達します。
- 2) 一学期内に二度の英語不使用は、再度の注意を受け、担当教員と面談します。
- 3) 三度目の不使用は次の処分を受けます。

ハイスクールの生徒は直ちに家に帰されます。学校に戻るには父兄同伴の上、教員との面談が必要になります。

小学校に関しては、校内での停学で、教室には戻れません。戻るには父兄の同